

生産性向上支援訓練 利用者の声

業務効率向上のための時間管理を受講して

【会社概要】

有限会社伊藤歯車製作所（大阪府岸和田市）は、各種歯車歯切、歯研加工、旋盤、フライス、マシニング、スロッター加工など、歯車及び歯車関連部品の加工と製造を行っている。創業昭和26年4月、代表者は現在で3代目である。機械設備の『歯車』という重要な部品を専門に扱っており、人々のライフラインを支え続けている。

歯車は円形の為、円周上に歯切（歯車のギザギザ部分）を行う際に円周率が作業に絡んでくる。3.14...と割り切れない円周上に割り切れる歯数を切ること、その際にどうしても誤差が生まれてしまう。ここで0.1mmでも誤差が生じると、歯車が噛み合わなくなり、機械設備が止まる原因となる為、良い製品を作るには熟練した技術力が必要不可欠である。

精度の高い歯車を製造し、顧客のニーズ

に細やかに対応することを第一に取り組んでいる企業である。

【事業主の声】



写真：代表取締役社長
伊藤 雄一郎さん

伊藤代表取締役社長は、「2年前から『S活動』を継続して取り組んでいるが、その成果もあり、ここ1〜2年の売り上げの推移も順調に上昇している。業務効率を上げ、ムダな作業や時間を減らすことで生産性向上ができると考え、社員の意識改革の一環として、訓練の受講を決めた。残業が当たり前だった時代の考え方を変えていき

いという思いもある。」と同訓練（業務効率向上のための時間管理）を利用した経緯を話された。

また、「訓練を受けてから社員の意識が変わった。その雰囲気がお客様にも伝わったのか、工場見学に来られるお客様が増加しており、工場を訪れたお客様のほとんどからご注文を頂いている。受注してからのように結果を出していくのか、まだまだ課題はあるが、訓練を受けたことで業務を進める上でのヒントをもらえた。」と訓練を受講した感想を語られた。

さらに、「工程管理にAI（人工知能）を活用できないかと考えている。現在は、パソコンを使って受注管理をし、それを追いながら工程管理をしているが、作業工程を見える化・データ化してAIで管理し、受注から納期までの目安や、納期に間に合わせるために必要な労働時間なども管理し、生産性

を向上させたいと考えている。将来的には、従業員が全員残業をせず全ての納期を間に合わせ、定時で帰れるような職場環境を作りたい。お客様に対しても、歯車の全加工など、フレキシブルに対応できることをアピールし、47都道府県全てのお客様から、ご注文いただくことが今後の目標である。将来的には、世界各国からも歯車加工のオーダーをいただけるようにしていきたい。その為にも、社員が働きやすい職場環境を整えてみんなで支え合いながらやっていきたい。経営理念の『私たちは、互いに思いやりみんなの力で動く活気ある企業を目指します。私たちは、歯車を通して確かな技術力で生活を豊かにします』自分達の仕事の人々の日々の暮らしを支えている、この言葉に誇りをもって、今後も努めたい。」と抱負を語られた。

【受講者の声】

実際に訓練を受講した生産管理部の川内さんは、「訓練を受講して、業務を進めていく上でのヒントをもらえた。時間管理や作業場の整理整頓を心掛けることで、業務の

効率が上がり、その分ムダを減らすことができる。弊社は、お客様からのご要望に合わせて歯車を全加工する等、少量多種に対応している。1年前から生産性向上のために生産管理部を立ち上げ、部署を任されているが、納期を守り、多様なニーズに応える為には生産管理部だけではなく、各現場が意識を高め、部門間で思いやり、連携しながら業務を進めていくことが重要だと考えている。また、業務効率向上の一環として、各現場にタブレットを導入することが決まった。今までは各工程納期を紙ベースで配布していたが、日々情報は新しくなり、更新していくかなければならないので紙がムダになってしまふ。タブレットを使って工程を見ることが、ペーパーレス・時間のムダを排除できる。この様に、最初はおぼろげなイメージだったものが、段々と形になってきている。今回、訓練を受講したことで、現場や仕事の進め方を客観的に見ることで、さらにムダを省く為のヒントを得ることで、整理整頓や資材管理の見直し等、業務効率向上に取り組むことが出来た。今後も、訓練で得た知識を活用し、生産性向上に取り組

んでいきたい。経営理念にもあるように『お互いを思い合つて』やっていきたい。」と訓練受講の感想と今後の活用方法を語られた。



写真：生産管理部

川内 真さん